

第1回 動物園ランドスケープ会議

日時：2019年11月9日（土）13:00～17:30

場所：恩賜上野動物園管理事務所3階会議室

主催：動物園ランドスケープの会

共催：（公財）東京動物園協会

後援：（公社）日本動物園水族館協会、（公社）日本造園学会、

日本展示学会、ヒトと動物の関係学会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会



動物は植物と共に暮らしています。動物園を動物が快適に生活する場とするために、また来園者が自然を学び、憩う場とするためにも、植物は大きな役割を担っています。本会議では緑とランドスケープの視点から、これからの動物園のあり方についての議論を行います。

プログラム

趣旨説明	山下 博史（東京動物園協会）	13:00
講演 I	「動物園ランドスケープの方法」 若生 謙二（大阪芸術大学）	13:10
講演 II	「動物園における植物：動物福祉とランドスケープ」 本田 直也（札幌市円山動物園）	13:40
事例報告	中村 千穂（アクアマリンふくしま）	14:10
	村田 真木（宇部市ときわ動物園）	14:30
	休憩	14:50
	村木 博介（東京都多摩動物公園）	15:05
	清田 義昭（千葉市動物公園）	15:25
	馬島 洋（東京動物園協会）	15:45
情報提供	「動物園園芸協会（AZH）年次大会への参加報告」	16:05
	三浦 翔太（東京都多摩動物公園）	16:20
パネルディスカッション	「動物園のランドスケープを考える」	16:20
	パネリスト 若生 謙二	17:30
	本田 直也	
	安部 義孝（アクアマリンふくしま）	
	森 由民（動物園ライター）	
	コーディネーター 山下 博史	



動物園ランドスケープの会 設立趣意書

動物園は来園者が学び、憩う場であると共に、動物が快適に暮らし得る場でなければならず、人間と動物の双方にとって快適な環境をつくり出す必要がある。そのために植物は大きな役割を担っている。多くの野生動物は自然界では植物とともに暮らし、植物なしに野生動物が生息することはできない。限られた敷地では植物との共存は困難であるといわれてきたが、近年、これを克服する技が生みだされるようになり、世界では動物園の展示に植物、土、水辺等の自然環境をとり入れることが主流になりつつある。動物が暮らす生息地の環境に近づけることは、動物にとっての快適な暮らしをもたらすだけでなく、来園者にとってもいきいきとした動物の生活とその環境を知るために必要な取り組みである。また、樹木は緑陰を提供するなど、動物と観客の双方にとっての快適性をもたらす。動物園は、都市の中の貴重な緑地であり、植物が生育していることは、都市の環境としても求められることである。植物は来園者の心に響く美しい展示をつくり出す下支えとなる。

動物園ランドスケープの会は、動物園にこのような環境をつくり出すことをめざす集いである。動物園に緑、土、水辺をとり入れるための研鑽を行い、国内外の情報を共有し、その成果を広く世界に発信し、動物園を通じた自然との共生社会の実現に寄与することをめざしたい。関心のある方々の参加をお願いします。

入場料：無料（資料代 500 円）

申込方法

下記サイトからお申し込みください。
定員に達し次第締め切ります。（定員 130 名）



問い合わせ先

動物園ランドスケープの会
（東京動物園協会総務部施設課）
☎03-3828-2142

交通アクセス

下記動物園管理事務所（通用門）からお入りください。
駐車場はありません。
東京メトロ千代田線根津駅 2 番出口から徒歩 7 分、
JR 上野駅広小路口から徒歩 12 分

